

1.評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	維持管理事業	担当課・係名	下水道課・下水道整備係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	5
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成2年度

2.事業の概要

目的 (何のために)	既存の下水道施設を適切に維持管理し、生活環境の保全を図ると共に、町内を流れる河川や公共用水域の水質保全を図る。				
対象 (誰を・何を)	既設下水道管等施設				
内容	既設下水道管及びマンホール等施設の維持管理や修繕を行い、町内10ヶ所に設置してあるマンホールポンプの維持管理を行うとともに、流域下水道との接続付近に設置した流量計の維持管理を行う。また、下水道法第23条に基づく、下水道台帳整備を行う。				
根拠法令・条例等	下水道法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	13,983	10,669	25,325
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	13,983	10,669	25,325
	一般財源	千円			
	職員人数 (概算職員数)	人			0.63
	人件費計 (b)	千円			3,861
総事業費 (a)+(b)	千円	13,983	10,669	29,186	
事業費内訳 H 25 年度	普通旅費：3千円、消耗品費：60千円、燃料費：7千円、光熱水費：837千円、修繕料：900千円、通信運搬費：550千円、手数料：69千円、火災保険料：3千円、総合賠償補償保険料：43千円、管理委託料：2,721千円、調査委託料：12,592千円、下水道台帳整備委託料：7,000千円、電子計算機プログラム使用料：276千円、用地借上料：214千円、機械借上料：50千円				

3.指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 汚水管渠延長	m	80,085	83,950	89,448
	②				
活動指標 (活動量)	① 修繕件数	件	4	3	3
	②				
成果指標 (達成度等)	① 修繕件数	件	4	3	3
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 直営や外部委託により適正な維持管理を行った。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 下水道施設の維持管理及び突発的な修繕に対応している。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他 直営でなく外部委託により対応することも検討の余地がある。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	
		評価理由 外部委託等の検討が必要。	

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	下水道施設の長寿命化計画策定に取り組む必要がある（平成30年度以降）。
② 平成26年度に着手する事項	下水道施設の長寿命化計画策定に向けた研究・資料収集等
③ その他（課題、調整事項等）	大量の雨天時浸入水により、流域下水道処理場の運転（処理）に支障を及ぼしている状況があり、不明水対策を強化していく必要がある。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

汚水管の適切な維持管理を行うため、硫化水素による腐食の発生しやすい箇所である、マンホールポンプの維持管理委託を引き続き行うと共に、伏越し管（大磯38-1汚水幹線）の浚渫を平成26年度に行っていく。
--